

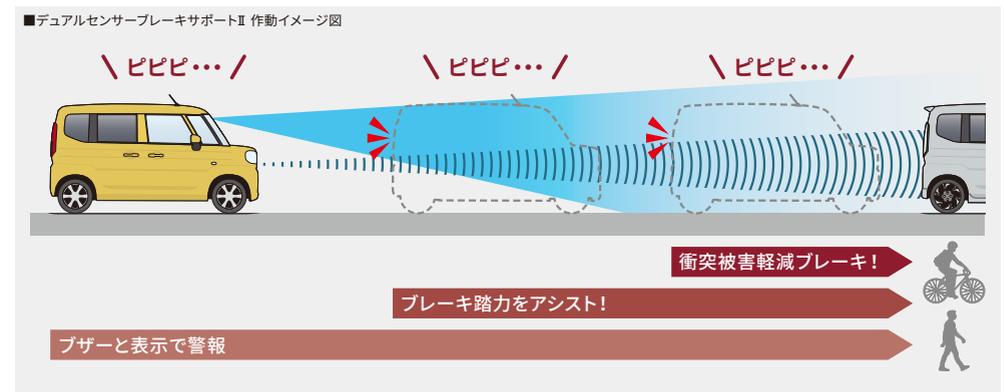
あなたの運転をデュアルシステムが見守ってくれる。

※装備されるグレード等の詳細はEquipment(主要装備)をご確認ください。



右左折時の歩行者や自転車、右折時の自動二輪車も検知する、 衝突被害軽減ブレーキ。【デュアルセンサーブレーキサポートII】^{※1※2※3※4※5} 運転支援機能 〈全車標準装備〉

システムが衝突のおそれがあると判断すると、ブザー音やメーター内の表示によってドライバーに警告。その間ブレーキペダルを踏むと、ブレーキ踏力をアシスト。さらに、衝突の可能性が高まると、自動で強いブレーキをかけ、衝突の回避または衝突時の被害軽減を図ります。



ミリ波レーダー、単眼カメラ、超音波センサーを組み合わせた 先進安全機能・運転支援機能を搭載。〈全車標準装備〉

ミリ波レーダーで遠距離も検知可能。さらに、カメラが
広範囲をサポート。検知エリアが拡大されたことにより、
対象物を早く検知することが可能になりました。

- ① ミリ波レーダー
- ② 単眼カメラ
- ③ 超音波センサー



全車安全運転サポート車(サポカーS・ワイド)に該当

経済産業省や国土交通省などが普及啓発を推進している、高齢者を含む運転者を先進安全技術で支援し交通事故防止を図る「安全運転サポート車(サポカー S・ワイド)」に該当しています。サポカー S・ワイドは、被害軽減ブレーキ(対歩行者)、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトを搭載した車です。



*詳細についてはマツダオフィシャルウェブに掲載しております。右記QRよりご覧ください。

【作動例(イメージ)】



■交差点衝突回避支援(右左折)

右左折時に対向車の進路を横切るときや対向方向からの横断歩行者や自転車を検出した場合、前方衝突警報および衝突被害軽減ブレーキによる支援を行いません。

■交差点衝突回避支援(出合頭車両)

交差点など側方から接近する車両と衝突の可能性が高いとシステムが判断したとき、前方衝突警報および衝突被害軽減ブレーキによる支援を行いません。

*交差点の形状によっては、正しく支援できない場合があります。

*衝突被害軽減ブレーキ機能作動時は強いブレーキがかかりますので、走行前にすべての乗員が適切にシートベルトを着用していることをご確認ください。

*衝突被害軽減ブレーキ機能による車両停車後は、必ずブレーキペダルを踏んでください。

低速でも、バックのときも、停車中も。先進技術が安全をサポート。

※装備されるグレード等の詳細はEquipment(主要装備)をご確認ください。

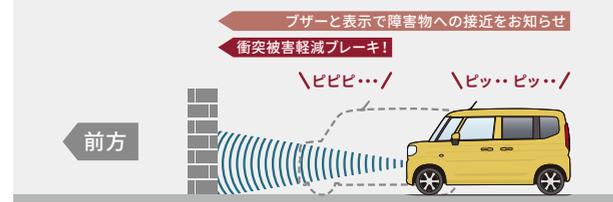
駐車時の低速でも衝突被害軽減ブレーキが作動。

【低速時ブレーキサポート(前進時/後退時)】

【運転支援機能】※1※2※3※4※6 <全車標準装備>

フロントとリアバンパーに内蔵した各4つの超音波センサーで、前方・後方の障害物との距離を測り、4段階のブザー音とメーター表示で障害物の接近をお知らせする「パーキングセンサー」を搭載。また、前方・後方の障害物との衝突の危険性が高まると衝突被害軽減ブレーキが作動し、衝突の回避または衝突時の被害軽減を図る「低速時ブレーキサポート(前進時/後退時)」も搭載しています。

■低速時ブレーキサポート(前進時) 作動イメージ



■低速時ブレーキサポート(後退時) 作動イメージ



*衝突被害軽減ブレーキ機能による車両停車後は、必ずブレーキペダルを踏んでください。

踏みまちがいによる急発進を回避。

【誤発進抑制制御(前進時)】【運転支援機能】※1※2※3※4※7

<全車標準装備>

前方に壁などがある駐車場などで、シフトをD・L・M(Sモード含む)などの位置でアクセルペダルを強く踏み込むと、エンジン出力を自動的に抑制。急発進・急加速による衝突回避に貢献します。

■誤発進抑制制御(前進時) 作動イメージ



シフト入れまちがいによる不意の後退を回避。

【誤発進抑制制御(後退時)】【運転支援機能】※1※2※3※4※8

<全車標準装備>

後方に障害物があるにも関わらずシフトをR(後退)の位置でアクセルペダルを強く踏み込むと、エンジン出力を自動的に抑制して急な後退を防止。うっかり誤操作による衝突回避に貢献します。

■誤発進抑制制御(後退時) 作動イメージ



スイッチ操作でパーキングブレーキを作動。

【電動パーキングブレーキ】

<標準装備:タフスタイル・カスタムスタイル、メーカーセットオプション(セーフティプラスパッケージ):XS>

スイッチひとつで簡単に操作できる電動パーキングブレーキを搭載。シフト操作やアクセルと連動してパーキングブレーキが作動・解除されるため、スムーズな発進が可能に。



停車状態を維持して疲れを軽減。【ブレーキホールド】

<標準装備:タフスタイル・カスタムスタイル、メーカーセットオプション(セーフティプラスパッケージ):XS>

停車中、ブレーキペダルから足を離しても停車状態をキープ。信号待ちや渋滞時の停車中でも足が疲れにくく、駐車券を取るシーンなどに便利です。

■ブレーキホールド 作動イメージ



■ブレーキホールドスイッチ



⚠ ※1 状況によっては正常に作動しない場合があります。 ※2 対象物、天候状況、道路状況などの条件によっては、衝突を回避または被害を軽減できない場合があります。 ※3 ハンドル操作やアクセル操作による回避行動を行っているときは、作動しない場合があります。 ※4 ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。 <作動条件> ※5 自車速度約5km/h~約180km/h(対象が自転車、歩行者の場合は約5km/h~約80km/h)、交差点(右左折)では、自車速度約5km/h~約40km/h(対象が自転車、歩行者の場合は約5km/h~約30km/h)、交差点(出合頭車両)では、自車速度約5km/h~約60km/hで走行中、車両や自動二輪車(前方の対向車両、対向自動二輪車は約30km/h以上~180km/h以上)、自転車、歩行者を検知し、システムが衝突の可能性があると判断した場合、衝突を回避できる場合があります。周囲の環境や対象物の動きなどによっては、警報のみで衝突被害軽減ブレーキが作動しない場合があります。また、警報と同時に衝突被害軽減ブレーキが作動する場合があります。 ※6 シフトがP・R以外の位置で前進、またはRの位置で後退方向に徐行中、進行方向に障害物を検知し、システムが「このままでは衝突が避けられない」と判断した場合。 ※7 シフトがD・L・M(Sモード含む)、N・P(前方カメラ、前方レーダーで認識時)の位置で停車または徐行中、前方に障害物を検知している状態で、アクセルペダルを強く踏み込んだ場合。 ※8 シフトがRの位置で停車または徐行で後退中、後方に障害物を検知している状態で、アクセルペダルを強く踏み込んだ場合。 ●運転支援を目的としています。 ●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

安心のドライブに、もっとゆとりが生まれる。

※装備されるグレード等の詳細はEquipment(主要装備)をご確認ください。

高速道路で、車間距離を保ちながら、自動的に加速・減速。さらに停止までサポート。

【アダプティブクルーズコントロール(全車速追従機能/停止保持機能付)】**運転支援機能** ※1※2※3※4

〈標準装備:タフスタイル・カスタムスタイル、メーカーセットオプション(セーフティプラスパッケージ):XS〉

高速道路や自動車専用道路を走行中、ステアリングの運転支援スイッチを操作すると、単眼カメラとミリ波レーダーで測定した先行車に合わせ、設定した車間距離を適切に保ちながら、加速・減速、さらに停止まで自動追従します。高速道路や自動車専用道路での長距離運転や渋滞走行時の発進・停止を頻りに繰り返す状況などで、運転操作の負担を軽減します。



高速道路で車線中央付近の走行維持をサポート。

【車線維持支援機能】**運転支援機能** ※1※2※3※5

〈標準装備:タフスタイル・カスタムスタイル、メーカーセットオプション(セーフティプラスパッケージ):XS〉

高速道路や自動車専用道路を走行中、左右または片側の区画線を検知して、ステアリングに力を与えることで区画線中央付近の走行維持をサポートします。区画線が見えにくいときは先行車の走行軌跡情報を活用するなど、走行状況に応じた制御も行ないます。



【100km/hに設定した場合の作動例(イメージ)】

<p>■定速走行 先行車がない場合は、ドライバーが設定した速度をキープ。</p>	<p>■減速走行 先行車の車速にあわせて減速して走行。</p>	<p>■追従走行 先行車の車速にあわせて走行。</p>	<p>■追従走行/停止 (全車速に対応) 先行車が停止した場合、自車も停止。</p>	<p>■加速走行 先行車がいなくなると、設定した速度まで加速して定速走行。</p>
--	-------------------------------------	---------------------------------	--	---

【機能例(イメージ)】

<p>■カーブ速度抑制機能 カーブを認識し、手前で減速。カーブ中も快適な速度を維持します。</p>	<p>■車線変更時の補助機能 方向指示レバーと連動し、自動で加減速を行なうことでスムーズな追い越しや安全な合流をサポートします。</p>	<p>■接近警報機能 他車の割り込みなどで先行車に接近した場合にドライバーに注意を促します。</p>	<p>■停止保持機能 先行車が停止した場合、自車も停止して停止状態を保持します。</p>
---	--	--	--

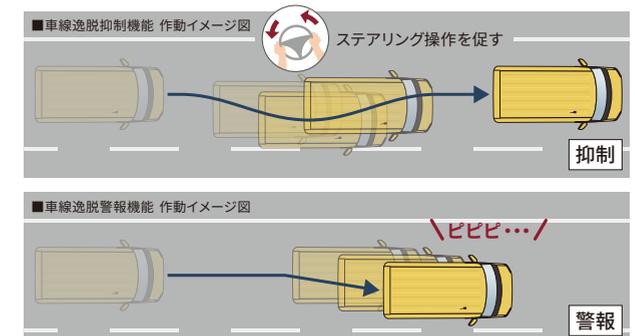
*イラストは高速道路や自動車専用道路での走行例です。

車線をはみ出さないようサポート。

【車線逸脱抑制機能】**車線逸脱警報機能** ※1※2※6※7

〈全車標準装備〉

機能をONの状態で行走中、カメラが左右の区画線に加え、アスファルトと草や土などの境界線、縁石、ガードレールなどの構造物を認識。車線逸脱の可能性が高いとシステムが判断した場合に、ステアリング操作のアシストや警報によってドライバーに注意を促し、車線逸脱防止の支援を行ないます。



*ドライバーの緊急操舵時は、ドライバーの操舵を妨げません。
*ウインカーが出ている間は、車線変更の意図があると判断し、車線逸脱抑制機能を一旦停止します。

見落としやうっかりを予防して、スムーズな運転をサポート。

※装備されるグレード等の詳細はEquipment(主要装備)をご確認ください。

標識を認識して安全運転をサポート。

【標識認識機能(車両進入禁止/はみ出し通行禁止/最高速度/一時停止/転回禁止/赤信号)】※1※2※8

〈全車標準装備〉

走行中にカメラが認識した標識を、マルチインフォメーションディスプレイやヘッドアップディスプレイ※内に表示してドライバーにお知らせします。

※ヘッドアップディスプレイ非装着車は、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイのみに表示します。



【表示例(イメージ)】

※ 補助標識「終わり」を認識した場合も非表示となります。

- "最高速度"、"はみ出し通行禁止"、"車両進入禁止"の標識を標識通過後に表示します。
- "一時停止"、"転回禁止"の標識、"赤信号"を通過前に表示します。
- 速度超過注意喚起
最高速度の標識を認識し、自車が一定速度を超えるとお知らせします。
- 車両進入禁止注意喚起
進入禁止の標識を認識し、自車が禁止区域に進入したとシステムが判断した場合にお知らせします。
- 赤信号注意喚起
赤信号を見落としとして交差点に進入する可能性があるとしてシステムが判断した場合にお知らせします。

うっかり出遅れを予防。

【発進お知らせ機能(先行車・信号切り替わり)】※1※2※9

〈全車標準装備〉

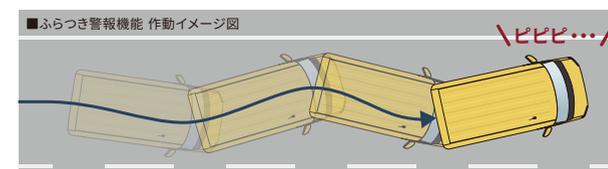
停車中、前のクルマが発進してもドライバーが気づかずに停止し続けた場合や、赤信号から青信号に切り替わってもドライバーが気づかずに停止し続けた場合、ブザー音やメーター内の表示によって、ドライバーにお知らせします。方向指示器の作動状況に応じて矢印信号にも対応します。



眠気などによるふらつきを予防。

【ふらつき警報機能】※1※2※10〈全車標準装備〉

走行中に左右の区画線を検知して、自車の走行パターンを計測。車両が蛇行するなど、システムが「ふらつき」と判断した場合、ブザー音などの警報によってドライバーに注意を促します。



⚠ ※1 状況によっては正常に作動しない場合があります。※2 ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。※3 高速道路や自動車専用道路で使用してください。〈作動条件〉※4 先行車の有無に関わらず、約0km/h以上でシステムをONにした場合。※5 機能をONの状態、アダプティブクルーズコントロールの作動中に車線や先行車・周辺車を検知している場合。※6 機能をONの状態、約50km/h(車線の周囲に自動二輪車や歩行者を検知した場合は約40km/h)以上で走行中、車線の左右区画線や道路端を検知し、進路を予測。システムが車線を逸脱すると判断した場合。※7 約50km/h以上で走行中、車線の左右区画線を検知し、進路を予測。システムが車線をはみ出すと判断した場合。※8 走行中に単眼カメラが最高速度、はみ出し通行禁止、一時停止、車両進入禁止、転回禁止、補助標識「終わり」の標識、赤信号を認識した場合。※9 シフトがD・N・L(Sモード含む)の位置でブレーキ操作をして停車中、前のクルマが発進してもドライバーが気づかずに停止し続けた場合や、赤信号から青信号に切り替わってもドライバーが気づかずに停車し続けた場合。※10 約50km/h以上で走行中、車線の左右区画線や道路端を検知し、自車の走行パターンを計測。システムが「ふらつき」と判断した場合。●運転支援を目的としています。●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

危険な場面にあわないための予防安全技術。

※装備されるグレード等の詳細はEquipment(主要装備)をご確認ください。

見えない場所を映し出す。【全方位モニター用カメラ(フロント/サイド左右/バック)】※1※2※3※4

〈標準装備:タフスタイル・カスタムスタイル XT、メーカーセットオプション(全方位モニター用メモリーナビゲーションパッケージ):XS・カスタムスタイル XS〉

クルマの前後左右に4つのカメラを設置。全方位モニター用メモリーナビゲーション(メーカーセットオプション)を装着すれば、クルマを真上から見たような映像などを映し出す「全方位モニター」に見通しの悪い場所で人などが近づいてくるとお知らせする「左右確認サポート機能」も前後に装備しています。



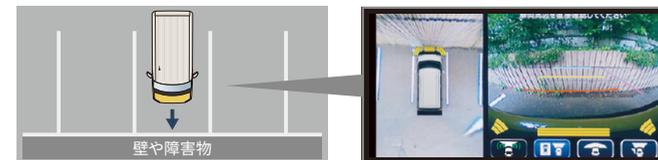
*全方位モニター用メモリーナビゲーションはメーカーセットオプションです。対象グレードはTechnical Informationをご確認ください。
*字光式ナンバープレートは、カスタムスタイルのみ装着可能です。なお、字光式ナンバープレートを装着した場合、全方位モニターの映像が一部遮られることがあります。

⚠ ※1 全方位モニターはドライバーの駐車等を補助するものであり、あらゆる状況で自車の周辺環境を映し出すものではありません。またカメラの位置より上にある物体は映像で見ることができません。そのほかバンパーによる死角や、トップ映像にはカメラ映像間のズレによる死角があります。車両の操作をするときは機能に頼らず、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。※2 システムの能力には限りがありますので、ドライバーは天候や路面状況にあわせた運転、周辺の車両・歩行者の確認、的確な運転操作など安全運転に努めてください。※3 左右確認サポート機能は、すべての移動物を検知できるわけではありません。また、静止しているものは検知できません。〈作動条件〉※4 左右確認サポート機能:自車が発進前/後退前に停止しているとき、または微低速で前進/後退しているとき。●運転支援を目的としています。●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

【作動・表示例(イメージ)】

●フロントソナー自動表示切替

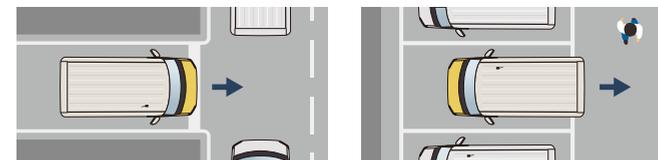
フロントソナーと連動して自動で画面を切り替え。



■トップ映像+前方映像

●左右確認サポート機能

自車に近づく人や物をブザーと画面表示でお知らせ。

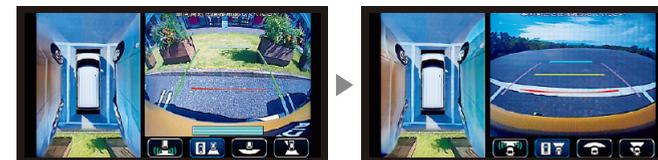


■前方左右確認サポート機能

■後方左右確認サポート機能

●フロントビュー自動表示機能(切り返し時)

画面表示を自動で切り替え。*10km/hを超えるとカメラ映像はOFFになります。



■シフトR(後退)

■シフトD・L(Sモード含む)

●3Dビュー

目視しにくいエリアの周辺確認をサポート。



■室外視点

■室内視点

いつもの道を、もっと安心して運転できる。

※装備されるグレード等の詳細はEquipment(主要装備)をご確認ください。

欲しい情報を、視界の中に。

【ヘッドアップディスプレイ(カラー)】

〈標準装備:タフスタイル・カスタムスタイル〉

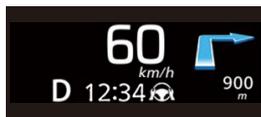
運転席前方のダッシュボード上に、車速、シフト位置や警告などの情報をカラーで表示。ドライバーの視線上に必要な情報を表示できるので、運転中にメーターパネルへの視線移動や焦点を調節することが少なくなり、安全運転に役立ちます。



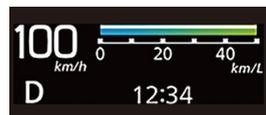
【表示例(イメージ)】



■タコメーター表示



■交差点案内表示*



■瞬間燃費表示



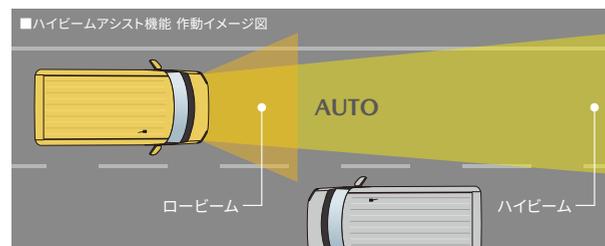
■運転支援機能表示

※ 全方位モニター用メモリーナビゲーション装着車でのみ表示されます。

ハイ/ロービームの切り替え忘れを予防。

【ハイビームアシスト機能】^{※1※2※3※4}〈全車標準装備〉

先行車や対向車のライトを認識し、ハイビームとロービームを自動で切り替え、夜道の視界を確保します。



後続車に急ブレーキをお知らせ。

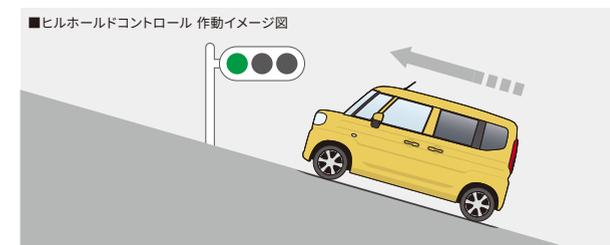
【エマージェンシーストップシグナル】〈全車標準装備〉

約55km/h以上で走行中に急ブレーキを検知すると、ハザードランプが自動で高速点滅。後続車に急ブレーキを知らせ、注意を促します。

坂道発進も安心。【ヒルホールドコントロール】

〈全車標準装備〉

坂道での発進時には、クルマが後ろに下がらないように、ブレーキペダルからアクセルペダルに踏み替える瞬間、一時的にブレーキが作動(最長約2秒間)。いつも通りの発進をサポートします。



安定感のある走りをサポート。

【ダイナミック・スタビリティ・コントロールシステム

[横滑り防止機構] (DSC) &

トラクション・コントロール・システム (TCS)】

〈全車標準装備〉

さまざまなセンサーによって走りを監視し、必要に応じてエンジンとブレーキをコンピューター制御。カーブでのタイヤのスリップや横滑り、急ブレーキ時のタイヤロックなどを抑え、車両の安定走行に貢献します。

*エンジントルク低減の度合いやブレーキをかける車輪とその強さは走行状況により変化します。DSC & TCSはあくまでも安定走行を補助する装置です。タイヤと路面間のグリップの限界を超えてスリップや横滑りを起こした場合はDSC & TCSが作動したとしても、その効果は期待できません。



※1 状況によっては正常に作動しない場合があります。※2 ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。※3 つねに周囲の状況に注意して、必要に応じて上向き(ハイビーム)と下向き(ロービーム)を切り替えるなど安全運転を心がけてください。〈作動条件〉※4 約30km/h以上で走行中、スイッチレバーのつまみを「AUTO」の位置にし、自動でヘッドライトが点灯しているとき。●運転支援を目的としています。●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

*画像は説明のためのイメージです。

万一を考え抜いた、高い安全性能。

乗員や歩行者のことを考えた装備やボディ。運転しやすい広い視界。
基本安全がしっかりしているからこそ、乗る人みんなが安心してドライブを楽しめます。

衝撃を効率よく吸収するボディ構造。 【軽量衝撃吸収ボディ】〈全車標準装備〉

衝突時の衝撃を効率よく吸収・分散するボディ構造を採用しました。いざというときの衝撃に備えます。

6つのエアバッグを標準装備。【SRS^{※1} エアバッグシステム 運転席&助手席、カーテン&運転席・助手席サイド】〈全車標準装備〉

SRSエアバッグシステム 運転席&助手席に加えて、カーテン&フロントサイドを全車に標準装備。6つのエアバッグで衝撃に備えます。



※1 SRS: Supplemental Restraint System (補助拘束装置) 運転席&助手席エアバッグは横方向や後方からの衝撃、横転および転覆した場合や正面からの衝撃が小さい場合には作動しません。カーテン&フロントサイドエアバッグは横方向からの衝撃を感知した場合、感知した側が作動しますが、正面や後方からの衝突時や衝撃が小さい場合には作動しません。すべてのSRSエアバッグはシートベルトをしたうえで補助拘束装置です。シートベルトは必ず装着してください。

体をしっかりホールド。【高性能シートベルト】 〈全車標準装備〉

前席シートベルトには、衝突時にベルトを瞬時に巻き取るプリテンショナー機構や、胸部への衝撃を緩和するロードリミッター機構を装備。万一の際の安全性を高めています。

*助手席に荷物などを載せると、荷物の重さや形状によってはシートベルトウォーニングが作動して、警告音とメーター内の警告ランプが点灯する場合があります。

脚部への衝撃をガード。【ブレーキペダル後退抑制機構】 〈全車標準装備〉

万一の衝突時、ブレーキペダルがドライバー側に飛び出すのを抑えて、脚部への衝撃を緩和します。

頭部へのダメージを軽減。 【頭部衝撃軽減構造インテリア】〈全車標準装備〉

万一の接触時に乗員の頭部へのダメージを軽減するために、ピラーの内側などに衝撃軽減構造を採用しています。

首への衝撃をやわらげる。 【頸部衝撃緩和フロントシート】〈全車標準装備〉

後方から低速で追突された際に、シートバックとヘッドレストがカラダ全体を包み込むように受け止め、頸部への衝撃を緩和します。

歩行者のことも考えたボディ。 【歩行者傷害軽減ボディ】〈全車標準装備〉

フロントボディ周辺に衝撃吸収構造を採用し、万一の衝突時に、歩行者の頭部だけでなく脚部へのダメージ軽減を図ります。

- 1 衝撃吸収ルーフ構造
- 2 衝撃吸収カウルトップ構造
- 3 衝撃吸収ワイパー構造
- 4 衝撃吸収フードヒンジ構造
- 5 衝撃吸収フェンダー構造
- 6 衝撃吸収フードパネル構造
- 7 衝撃吸収フロントバンパー構造



■歩行者傷害軽減ボディイメージ図

チャイルドシートをしっかりと固定。 【リアシート i-Size/ISOFIX対応チャイルドシート 固定ロアアンカレッジ&トップテザーアンカレッジ】 〈全車標準装備〉

i-Size/ISOFIX^{※2}対応チャイルドシートを確実・簡単に取り付けできるので、お子さまを乗せるときも安心です。

※2 国際標準化機構 (ISO) が定めたチャイルドシート取付装置に関する規格。
*i-Size/ISOFIX対応チャイルドシートの本車両への適合について、詳しくは車両付属の取扱書をお読みいただくか、営業スタッフにおたずねください。
*チャイルドシートを取り付ける際は、車両およびチャイルドシート付属の取扱書をお読みください。



サイドの死角も軽減。
【サイドアンダーミラー(助手席側ドアミラー)】
〈全車標準装備〉

助手席側のドアミラーにアンダーミラーを設置。運転席からの死角を減らします。

前方の視界を広く。【フロントピラー】

フロントピラーを細くすることで左右の死角を減らし運転時の視界を確保しています。

ライトのON/OFFを自動で切り替え。
【オートライトシステム】〈全車標準装備〉

周囲の明るさや暗さに応じて、ヘッドランプなどを自動で点灯/消灯するオートライトシステムを全車に標準装備しています。

ライトの消し忘れを防止。【ライト自動消灯システム】
〈全車標準装備〉

ライトスイッチがオートの位置でなくても、エンジンを切って運転席のドアを開けると自動でヘッドランプなどを消灯。ライトの消し忘れによるバッテリー上がりを予防します。